

【学校教育目標】ふるさと”若木”を愛するたくましい若木っ子の育成



武雄市立若木小学校 学校だより2号

わかきっ子

令和3年4月23日 文責 校長 羽田野修

【学校のHPもご覧ください】 <https://www.education.saga.jp/hp/wakaki-takeo-e/>



新緑の美しい季節になりました。8日（木）の入学式では21名の新入生を迎え、今年度の若木小の児童は89名となりました。子供たちも新しい学年、新しい先生にも慣れてきて、落ち着いて学校生活を送れるようになってきました。

一方で、新型コロナウイルスの感染は拡大傾向にあり、これからもしばらくは、感染防止に努めていく必要があります。今後も保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



登下校時の名札の着用について

報道等でご存知の方も多いと思いますが、登下校時の名札の着用について、佐賀県警察本部から見直しの協力要請があつています。この協力要請が出された背景には、登下校中の児童の写真がインターネット上に投稿され、名札によって個人が特定される事案が発生していることなどがあります。

本校でも、名札のメリットとデメリットを慎重に検討した結果、次のような対応を行うこととしました。

「登下校時は着用しない。名札は教室で保管し、校内だけで着用する。」

なお、4月いっぱい準備期間とし、4月30日（金）の歓迎遠足時から全面実施とします。子どもの登下校時の安全を確保するためにご理解とご協力をお願いします。

※緊急時の身元確認のため、ランドセルの見えない部分に、身元が確認できる情報を記入することをすすめます。（多くのランドセルにはそのような箇所があらかじめ準備されていると思います）

令和3年度 若木小学校経営方針

若木小は

「ふるさと”若木”を愛するたくましい若木っ子の育成」を教育目標に、

「**わ**かる子ども」
「**か**んしゃする子ども」
「**き**たえる子ども」

の育成をめざしてまいります。

※詳しくは裏面の「令和3年度 若木小学校学校経営方針」をご覧ください。

お知らせ

教職員から児童へのパワハラやセクハラ等のハラスメントについては、決してあってはならないものです。本校でも研修等を行い、職員のハラスメントに対する意識の向上に努めているところです。また、学校ではこのようなハラスメントにすばやく対応するために、相談員を定めています。もし、気になることなどがありましたら相談員にお知らせください。状況に応じて、他の職員、あるいは第三者機関に相談していただくことも可能です。

【本校相談員】 荒川 尚（教頭） 藤田 厚子（養護教諭）

※第三者機関については本校ホームページ上に紹介しています。

令和3年度 武雄市立若木小学校経営方針

1. 学校経営の基本的な考え方

- (1)安心・安全, 安定した学校
 - 児童の安全・安心を最優先に考え、危機管理意識の高い学校経営を行う。
- (2)「教育は人づくり(人間教育)」の教育活動を行う学校
 - 若木の宝である児童が、自立して未来を切り拓くために必要な資質・能力を育む指導を行う。
- (3)コミュニティ・スクールとして地域とともにある学校
 - 地域の「人・もの・こと」を利活用した若木ならではの教育活動を行う。
- (4)ワーク・ライフ・バランスを実現し、プロ教師としての意識及び自身の資質の向上を行う学校
 - 優先順位を意識しながら、質の高い仕事を行い、最大の効果を生み出すために研究と修養に励む
- (5)働きがいのある学校
 - 全ての職員が「チーム若木」として学校経営に積極的に参画し、温かい人間関係をつくる。

2. 教育目標

ふるさと“若木”を愛するたくましい若木っ子の育成

3. めざす子ども像及び具体的な指導事項

わかる子ども

- ①主体的対話的で深い学び(アクティブラーニング)の視点に立つ授業を実施し、基礎基本の習得と活用力の向上を図る教科指導を行う。
- ②基本的な学習習慣を身につけさせる指導を教育課程全般で行う。
- ③コミュニケーション力等を向上させる言語環境を充実し、言語活動を重視した指導を教育課程全般で行う。
- ④特別支援教育を充実し、個に応じた指導を行う。
- ⑤タブレット等のICTの利活用を行うとともに、市が行う「スマイル学習」「武雄花まる学園」等の実践を通してどの子どもも楽しく学習に取り組む、学習内容を理解させる指導を行う。

かんしやる子ども

- ①ふるさと「若木」のよさを学び、感謝する心・思いやりの心を育む指導を教育課程全般で行う。
- ②挨拶や言葉遣い等、子どもと教師、子どもと地域、子ども同士の温かい関わりを大切にす指導を行う。
- ③学校・地域の美化活動等を通して学校・地域を大切にす心を育む指導を行う。
- ④望ましい集団活動(学級活動・児童会活動・委員会活動・異年齢集団活動)を通して上級生と下級生のよりよい信頼関係を築かせ、明るく・楽しい学校生活をさせる指導を行う。
- ⑤地域の人材を積極的に活用し、教室ではできない体験活動を行うことにより、子どもの多様な価値観を育てる指導を行う。

きたえる子ども

- ①「早寝・早起き・正しい食事の摂取・運動」等の規則正しい生活習慣を身につけ、実践する力を高める指導を行う。
- ②学校行事や学習指導、スポーツチャレンジを通して、進んで運動する子どもの育成と集団行動における望ましい態度を向上させる指導を行う。
- ③「手洗い・うがい」等を徹底し、自分自身の身体を大事にさせる保健指導を行う。
- ④望ましい食習慣と自己管理能力を向上させるために発達段階に応じた指導を行う。

4. 学校像

- 安心で安全な学校生活をさせる学校(登下校も含む)
- ふるさと「若木」を大事にさせ、元気で活気のある子どもを育てる学校
- 感謝の心や思いやりの心を育てる学校
- 子どもが持っている力を向上させる学校

5. 教師像

- 児童・保護者・地域の願いに応え、信頼されるプロ教師
- 若木町と子どもの「よさ」を認識し、将来を見据えた教育ができるプロ教師
- 研究と修養に努め、自身の資質能力を高めるプロ教師
- 教育公務員としての誇りと自覚、責任を持ったプロ教師